

相談支援事業所連絡会について

1 概要

市と基幹相談支援センター及び市内の計画相談支援事業所間の連絡体制及び連携関係の構築のため連絡会を開催している。

運営としては年6回、偶数月に市内の計画相談支援事業所が対面、あるいはオンライン会議で開催、基幹相談支援センターである小金井市障害者地域自立生活支援センターが事務局として運営している。

2 連絡会の内容について

市、基幹相談支援センターからの連絡事項、各事業所の近況報告を共有し情報交換を行っている。また各事業所から当番制で個別ケースに関する対応事例を提供し、各事業所と内容の共有、意見交換等を通して参加事業所全体の事案対応力の向上に取り組んでいる。

3 個別ケースに関する事例検討の概要

詳細は別紙資料（非公開）を参照。

(1) 小金井市障害者地域自立生活支援センター

50歳代男性 業務中に受傷した方が入院から福祉制度に基づく支援を行いながら地域生活に移行した事例。

(2) 地域活動支援センターそら

50歳代女性 精神科病院に長期入院中の方が障害福祉サービス「地域移行支援」を利用し地域生活に移行した事例。

(3) 小金井市児童発達支援センターきらり

1歳女兒及びその家族について、児の現況を家族が受け入れ、児の療育につなげるまでの支援を行った事例。

(4) にこにこパートナーズ

20歳代男性 広汎性発達障害、自閉症スペクトラム障害のある方が過去に就労移行支援利用ののち就労継続支援B型を利用、支援を通じ再度一般就労に向けた支援を行っている事例。

(5) ふらっとヨハネ

80歳代男性 就労継続支援B型に通所していた方が事業所閉鎖により次の日中活動施設を探すこととなったが、高齢であるため介護保険施設の利用も視野に利用調整した事例。

(6) あしすとさくら

50歳代女性 支援を行った結果、家庭全体に課題があることが判明し、安定した生活環境を構築するため福祉関係者と連携して対応した事例。